

魅力ある高校生にインタビュー



明日へ ジャンプ

No.195

周りの人との縁を大切に 目指すはインターハイ出場

伊勢崎高等学校 2年 おおくり しん たろう 大栗 伸太郎 さん

「投げる動作がうまくはまった時に、思いもしなかったいい記録が出るところが面白いです」と円盤投げの魅力を語ってくれた大栗さんは、伊勢崎高校の陸上競技部で日々練習に取り組んでいます。

大栗さんは小学1年生から陸上に親しみ、中学進学を機に短距離種目から投てき種目に転向しました。

「けがをしたことやそれまで得意としていたハードルの競技規則が中学から変わることがきっかけです。円盤は上手に投げられるようになるまで時間がかかる人が多い中、自分は早くこつを掴むことができました、自分に向いていると感じました」

高みを目指し練習に励む大栗さんですが、昨年9月に行われた新人陸上競技大会で悔しい思いをしたと言います。「昨年5月に行われた群馬県高校総合体育大会では3位に入賞することができたので、今回も普段通りに投げることでできれば3位以内を狙えたものの、足元が滑ってしまい自分の思うように投げる事ができず、とても悔しい思いをしました」

新人戦の悔しさから、陸上をやめようかとまで考えたと話すが大栗さんですが、今でも続けられているのには理由があります。

「家族や友達、部活の仲間・先生など、今まで関わってくれた人や応援してくれる人がいるから競技を続けることができています」

『応援してくれた人との縁を大切に』という恩師の言葉を胸に、競技を続けていると語る大栗さん。最後に今後の意気込みを聞きました。

「群馬県高校総合体育大会で優勝し、関東高校陸上競技大会で入賞を果たし、インターハイ出場の切符を手に入れたんです」

プロフィール

おおくり・しんたろう
小学生の時にはハードルで県3位になるなど、多くの種目で成績を残している。高校ではリレーの選手に選ばれ、今は「走れる投てき選手」を目指している。休日には家族や友達と競技場に行き練習をして過ごしている。



2月28日(金)にいせさきFMで放送します

●午前7時54分～ ●午後1時25分～ ●午後5時50分～